

備前市事務事業評価シート

事業の概要		事業開始年度 H17.3.22~		根拠法令・例規等	大気汚染防止法
総合計画	大項目	基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」	環境課 環境係長・石野 隆彦 64-1822
	中項目	基本計画	09	環境を大切にしたい未来につなぐまち	
	小項目	施策	40	環境保全対策の推進	
事務事業名		01	大気汚染防止事業		このシート作成に要した時間 1.0 時間

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	大気汚染の影響を受ける恐れのある市民	
目的 (何のために)	大気中の環境状況の現状及び経年推移を把握するため、環境指標物質や人体に有害な物質などを調査測定し、公表することにより、市民の生活環境の保全と健康の保護を図る。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	大気の状態を常に把握することにより、今後の環境保全及び改善への意識改革を図る。	Do

事業の実績	細事業名	事業の説明	優先度
目的を達成するために実施した事業	大気環境測定局維持管理事業	市内3箇所の測定局の維持管理を行う	◎
	大気汚染監視事業	測定局の記録や粉塵発生原因等に対する調査等を行う	◎
	測定機器整備事業	測定局の統廃合及び機器更新等を行う	○
	環境改善施設等整備助成事業	大気汚染の影響による健康被害を予防するための事業	○
	届出受付事務	備前焼窯の設置等の届出を処理する	▲
	苦情処理事務	野焼きや粉塵などの市民からの相談通報を解決する	◎

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	事業費	千円	5,318	7,472	8,927
	必要人員	人	0.16人	0.26人	0.15人
	事業費	千円	6,620	9,673	10,232
財源	国	千円			
	県	千円			
	市	千円			
	その他( )	千円			
一般財源	千円	6,620	9,673	10,232	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	
結果指標	説明	調査項目別に市内測定局、測定機器で調査した回数			
	結果指標量	3,698	3,698	3,698	
	対前年比	-	100.0%	100.0%	
	活動コスト	5,318,069	7,471,549	8,926,716	
	単位当たりコスト	1,438	2,020	2,414	

事業の成果 (平成25年度事業)					
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
調査計画達成率	目標値 (A)	1	1	1	1
	実績値 (B)	0.994	0.993	0.997	到達目標値
	達成率 (B/A)	99.40%	99.30%	99.70%	1
成果指標設定の考え方・式や説明					
有効測定回数/大気汚染調査回数 (穂浪、鶴海、野谷局のSO2、NOX、SPM、風向風速の有効測定日数とする)					

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >		Check	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託合)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 市民参画度 <input type="checkbox"/> 市民参画度	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い		

進行年度 (H26年度) の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
説明	各大気測定局の十分なメンテナンスを実施するとともに、耐用年数を経過した機器を計画的に更新し、大きな修繕等が発生しないように適切な施設維持管理を行う。						

総合評価		総合評価
大気汚染常時監視については、さらに欠測データを減らすために測定機器に十分な保守管理を行う必要がある。また、周辺環境等の状況変化に応じ調査内容を改善しながらの事業継続が必要である。		A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い

平成27年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
取組目標	汚染状況の把握、被害未然防止のためにも、必要な施設である。今後も各施設の適切な保守管理を実施する。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな